

熊本地震を乗り越えキャンパスに笑顔が戻った

崇城大学

4月にキャンパスを襲った熊本地震。2度の大きな揺れで建物や施設に被害を受けた崇城大学(熊本市西区)は、5月の大型連休明けから理工系・薬学・芸術の5学部10学科が順次授業を再開し、学生たちの元気な姿が戻ってきた。「実学主義」や「実践教育」を理念に掲げ、英語教育をはじめ航空パイロットや起業家精神を育成する取り組みの成果は目覚ましく、2年連続の就職率99%超につながっている。



(上)パイロット・航空整備士を養成する、阿蘇くももと空港に隣接する空港キャンパス
(下左)国内外で活躍する起業家
(下右)SILC(シルク)の英語ネイティブ講師陣

崇城大学の今年の就職率は99.4%。全国でも屈指の就職率の高さで、昨年より2.2%上回った。このうち、従業員301人以上の大手優良企業への就職も52%に達した。教員1人が学生約5人の割合で入学時よりサポートするチューター制度や各学科に就任担当教員を1名配置、研究室単位での個別指導など全教職員が一丸となってサポートする体制を整えている。つまり、就職課員と各学科教員との絆をより緊密にし、就職未内定者のサポートをきめ細やかに支援する。全

学生の就職活動を徹底して把握する他、学生に寄り添う面談の中で、個々の環境やレベルに合わせた支援を図る。最近好評を得ている「企業見学バスツアー」では、企業研究や第六感を鋭くする大切さを学生自ら体感することで、就職意識の高揚が「ミスマッチ就職の予防」につながっている。また、「学内合同企業説明会」や企業と本学の「人材財」育成研究会などを開催し、地元志向の強い学生と優秀な人材を求める地元企業のベストマッチングを図る等、企業とのパイプ強化にも力を入れる。

就業力

就職率99.4% 大手優良企業52%

交流し、英語で自分たちの考えたビジネスプランを発表するなど活躍は海外に広がっている。これら国際交流をバックアップすることにもなる、グローバルに活躍できる実践力を育成する英語学習施設「SILC(シルク)」は、ネイティブ講師が17人。英語だけの授業を行うもので、特に「英語で話す力」の育成に重点

を置き、利用する学生が年々増加している。このほか大学では、学内にファンド会社を設立する計画もあるなど、学生の夢をはぐくみサポートすることに力を注いでいる。中山学長は「スーパーモデルになる成功者が出てくることを期待しています」と語る。

実学力

パイロット育成に実績 起業家育てる仕組みづくり

「地震も落ち着いてきて、病院や避難所となった学校などから、本校の学生によるボランティア活動に対して感謝状が次々に届いています。休講のため帰省して、県外で熊本支援活動や募金にあたった学生もいます。十分に把握できておらず驚き、教職員一同とても感激しています」と中山峰男学長は語る。

崇城大学は熊本空港に隣接する空港キャンパスに単発機9機、双発機3機を保有。宇宙航空システム工学科でパイロットを養成する航空操縦学専攻は、エアラインパイロットに必要な「多発・計器飛行証明」取得まで、一貫教育訓練が自前でできる国内唯一の大学として知られている。卒業生は国内大手航空会社に就職

している。現在の定員は20人だが、中山学長は「さらに増やしたい」と意欲的だ。日本初の大学公認の部活動「起業部」があるのも大きな特徴だ。背景には、同大学を卒業して県内に就職した学生が3割未満と低いため、「卒業生を熊本に残そう」と2014年度から大学が始めた起業家育成プログラム。ベ

ンチャー起業家論などを多くの学生が1年次より受講している。今年1月に開かれた第2回崇城大学ビジネスコンテストは、熊本県と国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が主催に加わって、日本を代表する起業家・投資家が審査し、優勝したチームはクラウドファンディングを利用した商品化に成功した。

赤十字熊本県支部に寝泊まり ボランティアで活動

応用微生物工学科3年平塚友彬さんは2度の大きな揺れを大学の寮で体験した。

16日未明の「本震」後は、「寮が倒壊のおそれがある」として、近くの公園さらに大学のグラウンドに避難し、時折、突き上げるような余震が続く夜を明かした。

入学式にももらったチラシが縁で、熊本の青年赤十字奉仕団に入り、月1、2回、赤十字のイベント補助などの奉仕活動をしていた関係で、同日からは熊本赤十字病院(県支部)にボランティアとして入り、そのまま寝泊まり。全国の赤十



応用微生物工学科3年 平塚 友彬さん

字病院から訪れた救護団を避難所に案内するなど、授業再開まで様々な支援活動にあたった。

余震も次第に落ち着き、東京での赤十字の活動報告など引っ張りだこの状態。「避難所でぼんやり過ごさずにはなく、赤十字で学んできた知識があるので、人の役に立ちたいと思いました」。今後は、「東日本大震災で仮設住宅での孤独死が問題になりました。仲間と仮設住宅での声かけボランティアを始め、被災者の心のケアに取り組みたい」とさらに被災地支援を続けるつもりだ。

2016年 オープンキャンパス

第1回 7/24(日) 第2回 8/21(日)

模擬講義・体験実習 入学相談 保護者説明会 学食無料体験 崇城大生と交流 キャンパスツアー

九州各県から無料ツアーバス運行!!

【開催時間 9:30~15:00】 〇バスのご予約は、ご同様の保護者の方も含め、お一人様ずつお申し込みください。 TEL.096-326-6810(入試課)

崇城大学 創立50周年記念事業 未来人育成特待生制度《通称 ミライク》

卒業迄の授業料がすべて無料に 4年間 授業料 0円 国立大学よりも安い授業料に 4年間 授業料 50万円/年

〇平成27年度就職率 96.3% 崇城大学の就職率 99.4%



学びたいテーマがきっとある。崇城大は5学部10学科。

多彩な学びの中からあなたが学びたい学科はどこ?最先端の研究を続ける崇城大は皆さんの入学を心待ちにしています。

学部	薬学部	生物生命学部	工学部	情報学部	芸術学部
学科	薬学科 (5年制課程)	応用微生物工学科 応用生命科学工学科	機械工学科 ナノサイエンス学科 建築学科 宇宙航空システム工学科	情報学科 美術学科	デザイン学科
授業科目	創薬化学講座 生命化学講座 環境衛生薬学講座 医薬化学講座	応用微生物学講座 応用生命科学工学科 食品衛生学講座 食品微生物学講座 JABEE認定学科	エネルギー工学分野 材料工学分野 機械工学分野 生産技術工学分野	ソフトウェアサイエンスコース メディアインテリジェンスコース 電気電子工学コース (2年次よりコース選択)	日本画コース 洋画コース 彫刻コース 芸術文化コース 視覚芸術コース
特色	●医薬品の創製に関する化学的研究 ●生命現象の解析と薬品開発 ●環境・衛生管理に関する薬学研究 ●薬物作用に関する基礎研究	●新しい医薬品の創製と新薬開発 ●生命現象の解析と薬品開発 ●食品衛生学講座 ●食品微生物学講座 ●多岐にわたる食品の安全・安心に関する研究	●エネルギーの高度な利用技術 ●最先端の材料開発 ●最先端の材料開発 ●最先端の材料開発 ●最先端の材料開発	●最先端の技術と社会に貢献する技術者の育成 ●最先端の技術と社会に貢献する技術者の育成 ●最先端の技術と社会に貢献する技術者の育成 ●最先端の技術と社会に貢献する技術者の育成	●最先端の技術と社会に貢献する技術者の育成 ●最先端の技術と社会に貢献する技術者の育成 ●最先端の技術と社会に貢献する技術者の育成 ●最先端の技術と社会に貢献する技術者の育成